

情報システム (Information Systems)		1年・前期・2単位・選択 電子情報工学専攻・担当 松尾 賢一	
〔準学士課程(本科 1-5年) 学習教育目標〕	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 B-2(80%) , D-1(20%)	〔JABEE 基準〕 (d-1), (d-2a)	
<p>〔講義の目的〕</p> <p>情報技術は、様々な形によって、人間社会の基盤形成に貢献している。このような技術は、人間の情報活動を支援することを目的として発展してきた経緯がある。また、今日では、新しい情報システムが次々とデザインされ、暗黙的に経験的知識が加わることによって、さらなるデザインが生み出されている。しかしながら、現在の情報化社会は、このような新しいデザインを受け入れるための熟成した社会ではなく、いわば、社会的な基盤が整わないまま技術だけが優先されている社会状況であるといえる。そこで、この情報技術と情報社会を共に学ぶ上で、前半では、多角的に情報と情報システムを捉えて講義する。そして、後半では、情報システムの仕組みがどのように開発されているかについて講義する。これによって、人間にとって、社会にとってより良い情報システムについての理解と、情報システム自体を多角的に分析できる能力を身につける。</p>			
<p>〔講義の概要〕</p> <p>以下の内容が理解でき、内容をシステム概論と情報システム一般に大別しながら講義を進める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <u>情報システムの概念</u>についての理解 2. <u>人間と情報システムとの関わり</u>についての理解 3. <u>情報に基づく行動</u>についての理解 4. <u>人間の感覚による情報収集活動</u>について理解 5. <u>世の中の情報システムの役割</u>についての理解 			
<p>〔履修上の留意点〕</p> <p>講義4回ごとに、理解度を測るレポートを作成してもらうので、講義内容や教科書の内容をしっかりと理解すること。</p>			
<p>〔到達目標〕</p> <p>(課題) ある問題に対して、その問題を解決するための道筋や方法を考える力を身につける。 (課題) 情報システムと人間との関わりを見抜く力を備える。 (課題) 情報システムによって、生じる問題点とその原因を分析できる能力を身につける。 (課題) 情報システムを構築して、成果の向上を実現することができたかをソフトウェアの見地および情報システムの役割の面から説明できる能力を身につける。</p>			
<p>〔評価方法〕</p> <p>成績は、レポート、課題、小論文等の形式による評価(70%)、発表、質疑応答、そして、授業の取り組み姿勢全般(30%)で評価する。</p>			
<p>〔教科書〕</p> <p>「教科書名：基礎 情報システム論」, 出版社：共立出版, 著者：神沼靖子, 内木哲也</p> <p>〔補助教材・参考書〕</p> <p>ホームページ参照(http://www.info.nara-k.ac.jp/~matsuo/JYUGYO/INFO_SYSTEM/info_system.html)</p>			
<p>〔関連科目〕</p> <p>関連科目としては、情報解析, 知能工学, パターン認識論, 画像工学, 情報伝送, があげられる。</p>			

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己評価*
第1週	情報システムとは	一般的な情報の概念と情報システムとは何かを理解させる。	
第2週	情報システム概論	情報社会と情報システムの関係について理解させる。	
第3週	情報システム概論	情報システム, DB管理システム, IT経営に関する知識を理解させる。	
第4週	情報システム概論	情報に基づく人間の意志の決定プロセスについて理解させる。	
第5週	人間の情報行動	人間が情報行動をする目的する理由について理解させる。	
第6週	社会基盤としてのシステム	情報化社会でのシステムを取り巻く環境や社会的影響について理解させる。	
第7週	文化としての情報システム	情報メディアと情報システムの成り立ちとの関係について理解させる。	
第8週	高度情報社会の特性	情報メディアと真の情報との乖離について理解させる。	
第9週	人間とシステム	情報処理システムとの人間とシステムの親和性について理解させる。	
第10週	プレゼン課題発表	これまでの講義に関する内容についてテーマを設定し, プレゼンを実施する。このプレゼンでシステムに対する多角的視点を理解させる。	
第11週	デジタル情報技術	ITが我々に与えた光と影の部分を理解させる。	
第12週	組織活動と情報システム	組織活動と情報システムの関連と利用価値について理解させる。	
第13週	組織活動と情報システム	組織の中における個人レベルでの情報行動を理解させる。	
第14週	個人的視点からの情報システム	情報化社会において, 個人の情報行動をいかに堅固にしていくのかを理解させる。	
第15週	情報システムのデザイン	理想的な情報システムのデザインについて理解させる。	

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった。
(達成) (達成) (達成) (達成) (達成)